



市議会だより

No.60 平成29年2月1日号



上田駅前イルミネーション

3月定例会は
2月27日(月)
開会です。

本会議の概要	2
委員会審査の概要	4
24人の議員が市政を問う	6
請願・陳情審査結果	16
議会報告会意見紹介	17
平成29年度議会開会予定	20
編集後記	20

第6回 議会報告会を開催

～参加者の皆さんと
活発な意見交換を行いました～



■主な意見交換の内容を報告します

平成23年度から開催を始めて、本年度で6回目となる上田市議会報告会は、毎年多くの方々にご参加いただいていることから、市議会としても議会活動や市政に関する報告の場あるいは広く市民の皆さんと意見交換をする場として大切なものであると位置づけており、議員が各会場に出向き、市議会などについて説明、報告するとともに、参加された皆さんからの声をお聞きする貴重な場として開催しました。

「議会報告会」は、平成28年10月17日(月)から10月21日(金)及び10月23日(日)に市内9会場で開催しました。また、5つの常任委員会であらかじめテーマを設定し、グループ単位で参加者の皆さんと意見交換を行い、理解を深める「テーマ別車座集会」は、10月下旬から11月上旬までの期間に市内5会場で開催しました。

今回の議会報告会及びテーマ別車座集会には、延べ336人の市民の皆さんに参加していただき、多くの貴重なご意見やご提案をお聞きすることができました。

なお、各会場でいただいた貴重なご意見の一部を17ページから19ページにおいてご紹介しています。

12月定例会

一般会計補正予算を可決

「公立大学法人長野大学の中期目標を定めることについて」可決

12月定例会は、11月28日から12月19日まで22日間の会期で開かれました。

市長提出議案は平成28年度一般会計補正予算、条例の一部改正、事件決議など52件で、採決の結果、すべて可決、承認されました。

一般質問では24人の議員が登壇し、長野大学公立大学法人化や学園都市構想、観光施策及び教育行政などについて質問したほか、委員会審査においても、市政の課題やそれぞれの所管事項について活発な議論が行われました。



予 算

**一般会計補正予算は19億7461万円余の増額
大河ドラマ館後利用施設の再整備、菅平地区振興施設の整備に係る経費を計上**

一般会計補正予算は、19億7461万円余を増額し、総額71億773万円余となりました。これは、昨年度同期に比べて0.9%の減額となっています。そのほか、5特別会計と5企業会計の補正予算が提出され、全て可決されました。

主な補正内容としては、外部有識者及び市民による本庁舎等改修・改築事業についての検討委員会開催に係る追加の経費として「本庁舎等整備事業」7万6千円、地域資源を活かし、農業振興と移住促進を図るなど未来への投資につながる施設整備等を行うため、武石地域の旧権現保育園の耐震診断に係る経費として「公有財産管理事業」250万円、低所得者に対する消費税増税の影響緩和のための給付措置として「臨時福祉給付金」4億8000

万円、神川統合園建設に係る用地費として「保育所建設事業」9352万3千円、私立保育園等への運営費負担金（施設型給付・地域型給付）として「民間保育所運営事業」1億924万9千円、母子家庭の母または父子家庭の父が資格取得を目的に1年以上養成機関に通う場合、生活安定を図るために給付金を支給する「母子家庭等高等職業訓練促進給付金」607万4千円、上田城跡公園における観光拠点を維持するため、VR（立体視）システムを利用した400年前の上田城体験、真田氏の歴史の紹介などを行う大河ドラマ館の後利用施設を再整備する「大河ドラマ館後利用施設整備事業」800万円、工事請負費及び工事監理委託料など「菅平地区振興施設整備事業」に係る経費として



1月15日をもって閉館した大河ドラマ館

1億7159万円、小学校3校のトイレの男女別化の改修工事や営繕工事を行うための「施設整備事業」4400万円、本原小学校改築における巨石の発生に伴う工事費の増額として「本原小学校改築事業」5800万円、平成29年1月2日から15日までの期間に実施する上田城櫓の特別開館に伴う追加経費として「博物館管理運営事業」136万8千円、平成29年4月29日から6月18日までの期間に実施する「吉田博展」の開催準備に係る負担金として「展覧会開催事業等

負担金」200万円などです。

各特別会計では、給付見込みによる給付費や人事異動などに伴う人件費の調整に係る予算などが計上されたほか、駐車場特別会計では緊急対応用修繕費が補正予算として計上されました。各企業会計では、人事異動などに伴う人件費の調整に係る

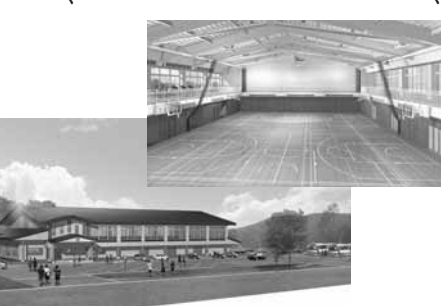
条例

上田市体育施設条例等の一部改正など13件を可決

今定例会では、既存の条例を一部改正する条例案13件が提出され、全て可決されました。

このうち、「市税条例等中一部改正」は、地方税法の一部改正に伴い、医療費控除の特例新設に伴う改正及び固定資産税

る予算が計上されたほか、市立産婦人科病院事業会計では年間患者見込数の増加による各種材料費の増額などが補正予算として計上されました。



菅平地区振興施設完成予想図

の課税標準額の特例割合を定める改正など、所要の改正を行うもので、「市立産婦人科病院料金条例中一部改正」は、「上田市産婦人科病院運営審議会」の答申内容に基づき、分べんなどに係る料金を改定することから、

◆その他可決された条例案

・職員の手当手続に関する条例中一部改正
・都市計画税条例中一部改正
・手数料条例中一部改正
・市営住宅等に関する条例中一部改正
・社会就労センター条例中一部改正
・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準

報告

専決処分した一般会計補正予算を承認

平成28年10月21日付で「専決処分した一般会計補正予算第5号」について、9月19日、20日の台

事件決議

公立大学法人長野大学中期目標を定めることについてなど13件を可決

事件決議では、東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町及び嬭恋村の6市町村との間における上田地域定住自立圏形成に関する協定において、現行の共生ビジョンが平成28年度末をもって終了することから、平成29年度から平成33年度までの5年間の取組内容を定める「次期ビジョン」を策定するために協定の一部を変更することについて議会

大学中期目標を定めることについて、また、「上田市武石児童館」をはじめとする市所有の施設13か所について、平成29年4月1日からの指定管理者を指定するために議会の議決を求める「公の施設

意見書

議員提案で「訪日外国人観光客の増加による宿泊施設のあり方について地域の実情に応じた法整備を求める意見書」を国に送付

最終日には、3件の意見書議案が提出されました。「訪日外国人観光客の増加による宿泊施設のあり方について地域の実情に応じた法整備を求める意見書」は、訪日外国人観光客の増加による宿泊施設の法整備を進めるなか、外国人旅行者が地方へ移動しやすくなる環境整備を図り、都市の宿

泊需要を周辺地方に分散するための方策を講じるとともに、民泊の法整備に当たっては、地方の意見を十分に聞き、制度に反映させるとともに、地域の実情に即した運用が可能な法制度とすることを国に求めるもので、全会一致で可決しました。

このほか、「免税軽油制度の継続を求める意見書」と「給付型奨学金制度の創設等を求める意見書」の意見書議案が提出され、それぞれ全会一致で可決されました。

経費として488.9万円を増額し、総額69億312万5千円としたとの報告があり、承認されました。

風16号により被災した農地農業用施設、林業施設、公共土木施設及び体育施設の災害復旧事業に係る

の指定管理者の指定についての議案が提案され、それぞれ可決されました。

◆その他可決された事件決議

・市道路線の認定について
・市道路線の廃止について
・市道路線の変更について
・市道管理・教室棟改築事業建築主体工事請負変更契約の締結について
・水路転落事故に係る和解について

公立大学法人長野 大学中期目標を定 めることについて

問 中期目標を定めるに当たり、盛り込んだ独自性は何か。

答 地域課題への取り組みや地域貢献活動をさらに充実させること、地域協働型教育を行うことを特徴としている。そして、大学運営の改善として受験生のニーズと地域からの意見を踏まえた学部・学科編成の検討、受験生から選ばれる大学にするため教員の評価制度を構築し、教育研究水準の向上、また、入学定員の確保、外部資金の獲得及び経費削減による収支構造の改善を通し、安定的な経営基盤の確立が挙げられる。

問 外部資金の獲得とは具体的に何か。

答 地域と連携を図るなかで地域との共同研究を深め、国

による科学研究費助成事業を積極的に活用すること、また、寄附金を多く募ることが挙げられる。

問 大学運営の改善を経営の責任者である理事長と、教育の責任者である学長の指導のもとで行うとあるが、具体的な体制はどう考えるか。

答 理事長を含めた理事会などの法人の組織と、教授会などを含めた大学の組織の権限を明確に分け、理事長の考えが大学側にしっかりと伝わる、リーダーシップが取れる組織体制を考えている。

問 大学改革の進捗状況はどう公表するのか。

答 大学が定める中期計画に基づき、

大学改革も含めて上田市公立大学法人評価委員会がチェックし公表する。

問 選ばれる大学となるためには教員の資質向上が不可欠であり、教員の研究実績を評価する体制を具体的にどう考えるか。

答 論文の数、学会での活動数、学内での活動実績などを評価する体制を構築し、資質の向上と人事の適正化を図る。

総務文教委員会

●12月9日に開催し、条例案7件、予算案2件、事件決議案9件、報告1件、請願1件、陳情5件の審査を行いました。

産業水道委員会

●12月12日に開催し、予算案8件、事件決議案2件、報告1件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 営平地区振興施設整備事業は平成28年度から30年度までの建築工事に係る工事請負費及び工事監理委託料について債務負担行為を設定することだが、3年間の事業計画はどうか。

答 実施設計の完成は平成29年1月中旬、契約に係る議会の

への議案の上程は平成29年3月定例会、建築

本体の工事は平成29年4月から着手し平成30年5月の完成を見込んでいる。その後、外構工事を完了させ、施設の供用開始は平成30年9月からを予定している。

公の施設の指定 管理者の指定

問 上田市塩田の里交流館は、土地改良課の所管であったものを農政課に所管替えした経過があるが、今後、この施設をどのようにに農業振興に活かしていくのか。

答 ナカセンナリ、こうじいらす大豆といった西塩田地域で伝統的に栽培されている農産物を振興し、生産者の意欲を継続させるためにも、直売等の機会を拡大するなど、

さらなる施設の活用を考えていく。

専決処分した一般会計補正予算第5号の承認

問 9月19、20日の台風16号による被害を受けた農地農業用施設及び林業用施設の災害復旧に係る事業費を専決処分したとのことだが、事業は完了しているのか。

答 農地農業用施設の災害復旧事業のうち、農業用施設は工事が完了または発注済みで、農地用施設は工事を発注済みまたは設計が完了したところである。また、林業施設は被害を受けた13路線の林道のうち、11路線の工事が完了し、2路線は工事を発注済みである。

の審査概要

市立産婦人科病院 料金条例中一部改

問

改定金額の算出
根拠は何か。

答

上田地域内の均
衡を勘案した料
金設定とするため、前
回料金改定を行った平
成24年度時での地域内
の分娩取り扱い施設の
平均料金との差額割合
をもとに、今年度8月
時点での地域内の平均
分娩料に当てはめて計
算し算出した。

問

平成29年4月か
ら改定されるこ
との周知はどのように
考えているのか。

答

院内の掲示や分
娩予約の際に個
別にお知らせすると
もに、広報やホームペ
ージ等にも掲載するこ
とで、十分に周知でき
るように取り組んでい
きたいと考えている。

一般会計補正予算

問

申請方式をとっ
ている臨時福祉
給付金に対する周知の
考えはどうか。

答

国からも周知徹
底の指示が出て
おり、広報などを行う
ことは当然だが、非課
税者が給付対象である
ため、そのリストから
被扶養者を除くなどの
チェックをした上で、
漏れのないよう該当す
ると思われる方全員に
あらかじめ申請書を送
付している。

問

母子家庭等高等
職業訓練促進給
付金の増額補正は、ど
のくらいの申請者増を
見込んでいるのか。

答

今年度より支給
期間が2年から
3年に延長となったこ
とにより、8人の増加
を見込んでいる。

厚生委員会

●12月9日に開催し、条例案4件、予算案12件、事
件決議案1件、陳情1件の審査を行いました。

常任委員会

環境建設委員会

●12月12日に開催し、条例案2件、予算案4件、事
件決議案3件、報告1件、陳情1件の審査を行いま
した。

公の施設の指定 管理者の指定

問

上田市母子寮の
指定管理者に対
する評価はどうか。

答

複雑な事情を抱
えた入寮者に対
する支援に必要な職員
が配置されており、過
去の実績からもその支
援力は高いと評価して
いる。また、経験やノ
ウハウに基づく提案も
していただいている。

手数料条例中一部 改正

問

改正の概要はど
うか。

答

個人番号カード
によるコンビニ
エンスストアでの住民
票の写し等の交付を行
うため、市民カードに
よる自動交付機での交
付を、平成29年3月31
日をもって廃止するこ
とに伴い、市民カード
を廃止し、今後、同カ
ードの名称を印鑑登録

証に変えて、引き続き
使用することから、印
鑑登録証の交付及び再
交付手数料として1件
300円とする。

一般会計補正予算

問

特殊詐欺や悪徳
商法による消費
者被害防止と食品ロス
削減に関する啓発記事
を載せた自治会用閲覧
板の力バーを1万部作
るとのことだが、地域
によっては閲覧板の種
類形状が異なるなかで、
その実態把握と配付方
法の考え方は。

答

今回、ビニール
式の力バー1種
類を作成する。詳細な
実態把握はしていない
が、平成22年に同じ仕
様で作成した経過があ
り、同様に自治会連合
会を通して、要望があ
る自治会に対して随時
配付する方法を考えて
いる。

問

除雪はどのよう
なルールに基づ
き行っているのか。ま
た、生活道路につい
ては、自治会をはじめ住
民の皆様にご協力いた
だいているが、自治会
への塩カルなどの凍結
防止剤の配付はどのよ
うなルールに基づくの
か。

答

「上田市除雪対
応マニュアル」
に基づき、幹線道路を
中心に除雪を行ってお
り、10^{キロ}の積雪を目安
として除雪業者が出動
している。凍結防止剤
は特に自治会への配付
ルールはないが、市役
所や各地域自治センタ
ーに保管しており、自
治会からの要望により
随時配付している。

24人の議員が市政を問う

12月定例会一般質問要旨

12月定例会では一般質問を12月5日、6日、7日の日程で行いました。

掲載内容は、質問全体の一部を要約したものであり、質問議員本人が作成しています。質問全体の内容については、会議録をご覧ください。いただくことができます。

会議録は議会事務局、市内図書館及び地域自治センターなどで閲覧することができます。また、ホームページ「ようこそ上田市議会へ」でもご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により、生放送及び録画放送を行っています。

アクセスはこちらから➡ www.city.ueda.nagano.jp/

一般質問

成瀬 拓議員（日本共産党）

マイナンバー

問 マイナンバーカードの申請交付状況はどうか。

答（片岡市民参加協働部長）申請者の数は1万3156人、交付済みは9834人。

問 マイナンバーカードは普及に至っていないが、個人情報漏えいの危険性などの問題点や懸念に国がまともに答えられないため、不安・不信が払拭されていないことをあらわしていると考えるが、市では申請交付状況をどう分析しているのか。

答（片岡市民参加協働部長）個人情報照会提供の際、行政機関ごとに異なるコードを用い、仮にマイナンバーが不正に入手されても、個人情報の追跡や名寄せはできない仕組みとなっている。社会保障や税の手続を行う際には、マイナンバーカードや運転免許証により、本人確認を厳格に行うことが義務づけられている。今後、マイナンバーカードの利便性も向上し、普及も一層促進されるものと予想している。

問 総務省から住民税特別徴収通知書に従業員のマイナンバー記載の指示が出された。上田市はどう対応するのか。

答（小野塚財政部長）通知書にマイナンバーを記載し対応していくと考えている。郵送方法については、普通郵便ではなく簡易書留による発送を考えている。通称「eLTA」のシステム改修が行われ、オンラインで送受信できるようになった。オンラインで郵送による誤配達などのリスクが削減されることから、今後、eLTAの利用も検討していきたいと思っている。

一般質問

佐藤 清正議員（創始会）

長野大学公立大学法人化

問 公立大学法人長野大学の理事長に期待することはないか。

答（母袋市長）白井理事長予定者は大学の教育研究という面と管理運営面と経験をお持ちで、加えて産学官連携のパイオニアで、大学法人のあり方に深い見識があり最適な方だと認識している。

問 市に財政負担を掛けずに公立大学法人を設置運営するという大学の考えが大きく揺らいでいるのではないか。

答（母袋市長）運営費交付金については、基準財政需要額以内、キャップをはめて交付し、その範囲で大学運営を行ってもらうわけで市民懇談会で示した額以上を負担することはないと考えている。中期目標で最も重要な課題は何か。



答（西入政策企画部長）大学運営の改善に関する目標で、受験生のニーズや地域が求める人物像を踏まえた学部や学科編成と大学院の設置、教員の処遇に反映させる評価制度の構築と安定的な経営基盤の確立の三点である。

防災マップの活用と介護保険施設等の避難対策

問 マップに示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域に立地する社会福祉施設や介護保険施設の現状とその対策はどうか。

答（櫻田福祉部長）市内全体で160施設のうち、区域内に立地する施設は45施設である。市内の介護保険施設などについて、避難情報内容の再確認や災害メール配信の登録勧奨を行い、災害など緊急時の情報受発信体制の向上に努めている。

一般質問

松尾 卓議員（公明党）



環境行政

問 環境行政を一元的に

担当し、総合的に取り組むことで市民や事業者の理解を得て協働へつながらと考える。来年度、組織を再編し、さらに環境行政を進める上で市長の考えはどうか。

答 （母袋市長）環境政策

は地域の振興あるいは雇用の創出にもつながり、地方創生にも影響するため期待している。環境と調和した持続可能な地域をつくるための政策に環境面からリーダーシップを発揮して推進する担当を設置し、地球温暖化防止、再生可能エネルギーなどに関する環境政策を総合的に調整・推進していく。加えて環境省との連携を視野に市職員の派遣についても検討を急いでいる。

松くい虫被害対策

問 更新伐は市民生活に

大きな影響を及ぼしている箇所を優先すべきと考える。モデル事業を鈴子地区で実施すると決めた理由は何か。

答 （保科農林部長）更新

伐を進めるための要件は前提条件として、森林所有者や地域住民の理解と合意が得られること、さらに、森林法に基づいた森林経営計画が事業主体により樹立された地域であること、保安林指定がある場合は伐採に係る条件をクリアすること、がある。鈴子地区に総意として強い要望があり、生活道路に隣接していることから選定した。

問 更新伐エリア選定の

ため森林所有者からなる協議会などの組織設立に向け、市として環境づくりを行う考えはあるか。

答 （保科農林部長）森林

の再生を推進すべき地域は市として関係者との連絡を密にし、組織の立ち上げに努力する。

一般質問

林 和明議員（新生会）



結婚・子育て応援サイト及びアプリ

問 内容について決まっ

ているのか、年度内に完成はできるのか。

答 （神代健康こども未

来部長）「うえたママみらいカフェ」と題するワークショップを開催し、いただいた意見をもとに、出合い・結婚、妊娠・出産、子育て、仕事・地域交流の4つを基本的な枠組みとした。

また、お子さんの年齢にに応じて、乳幼児健診や予防接種の日程の通知のほか、緊急・夜間当番医情報、お知らせ、イベントなどの情報を配信していく考えである。

現在、内容充実を図るため、さらに調査、取材を行っており、本年度中の完成を予定している。

認知症予防

問 認知症カフェを広げ

るため既存の飲食店に協力を求められないか。

答 （櫻田福祉部長）協力

店として登録する仕組みは、全国の幾つかの自治体で導入しており、認知症施策のPRのために店舗にステッカーを貼るだけのところから、具体的な役割を定めているところなど、さまざまな内容で実施されている。認知症サポーターの活動の場を創出するため、見守り活動なども含め、上田市認知症高齢者など支援ネットワーク協議会などの関係者の皆様のご協力や認知症サポーターステッ

プアップ講座の今後の開催について、研究、検討していく。

その他の質問項目

・真田丸後の観光施策

一般質問

土屋 勝浩議員（新生会）



真田丸関連施設の今後

問 3月末に設置された

真田十勇士ガーデンプレイスは、中心市街地の活性化に寄与してきたのか。今後の利活用の在り方をどう考えているのか。

答 （倉島商工観光部長）

商工会議所や地元商店街の参画により、イベントの開催は合計49回、来場者は3万3千人に達し、街中のにぎわい創出に繋がってきた。今後も、「まちの駅構想」の拠点施設として有効活用を図っていききたい。

問 観光客に好評であっ

た「おもてなし武将隊」と「真田茶屋」の事業は今後も継続できないか。

答 （倉島商工観光部長）

おもてなし武将隊については、上田市全体のPRを図るため今後も継続していく予定である。また、真田茶屋は現在と同じ方式で続けることは困難だ

学童保育の現状と課題

問 全国で学童保育の需

要が高まっているが、上田市ではどのような対策や支援を考えているのか。

答 （中村教育次長）状況

を見ながら、小学校の空き教室や体育館の利用を促していく。また、運営主体である保護者会に対しても、意見・要望を聞きし、問題解決に協力していききたい。

問 児童館・児童センタ

ーの開館時間を、共働き家庭のニーズに合わせて変えることは出来ないか。

答 （中村教育次長）これ

らの施設は、学童保育を補完する部分もあるので、施設の在り方も含めて今後検討していきたい。

一般質問

井沢 信章議員（新生会）

認知症に対する市の
具体的な取り組み

問 認知症の方々の支援するために、国が示した新オレンジプランを市はどのように受け止め、どう具体化するのか。

答 （櫻田福祉部長）新オレンジプランは、団塊の世代が全て75才以上になる平成37年を目指し、認知症の方ができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける社会を実現するため、平成24年に策定されたオレンジプランを改め、平成27年1月に国が策定した計画である。この内容は認知症への理解を深めるため、普及・啓発の推進、認知症の容態に応じた適時適切な医療・介護などの提供、若年性認知症施策の強化、認知症の方の介護者への支援など、7つの柱に沿ってそれぞれの施策を総合的に推進していくもので、平成29年度末を目標

一般質問

古市 順子議員（日本共産党）



子どもの貧困対策

問 学校を窓口とした福祉関連機関などとの連携を求められている。スクールソーシャルワーカーの増員など必要ではないか。

答 （中村教育次長）来年度以降も増員や派遣時間を増やすなどの検討をしていく。

問 就学援助制度の改善について、3点提案する。
①認定要件について、生活保護基準に一定の係数をかけた基準としている自治体が多い。対象者を拡大する要件を検討するべきではないか。
②市の就学援助費目には生活保護基準にある体育実技用具費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が含まれていない。支給対象とすべきではないか。
③中学校入学準備金の支給時期を前倒しして、入学前にすべきではないか。

その他の質問項目

・子どもアトリエの実施状況と今後の実施計画

一般質問

山田 英喜議員（創始会）

サントミューゼ
運営費

問 平成27年度の運営費が5億1200万円と当初計画から約2億円上まわっている。運営費を考慮した上で事業を取捨選択していくべきと考えるがどうか。また、サントミューゼにおける民間や市内音楽家との連携を強化していくべきと考えるがどうか。

答 （西入政策企画部長）今後は事業の取捨選択が必要だと考える。歳出額だけではなく事業収入を見込んだ上で当初計画に示された市の負担額に近づけるよう努めたい。また、市内で音楽や文化芸術活動を行っている皆様との意見交換の場を設けることや、地元アーティストの参加も積極的に計画したいと考える。

第五中学校改築

問 築後55年が経過して

いる第五中学校改築について今後のスケジュールはどうか。また、老朽化の進んでいる神科小学校、豊殿小学校とあわせ小中一貫校を検討していく考えはあるか。

答 （小林教育長）耐用年数を考えると改築を検討すべき時期にあり、実施できるよう努めてまいりたい。少子化による学校の小規模化への対応を今年度の重要政策課題として検討を進めている過程で、特色があり将来にわたって持続できる教育のあり方も検討したいと考え、小中一貫教育も一つの方策として検討している。第五中学校の小中一貫校といった視点は、次年度からの検討過程において効果などを検証する中で一つのご提言として承らせていただきたい。

その他の質問項目

・体育施設の料金改正

一般質問

松山 賢太郎議員（新生会）



企業誘致政策

問 中小企業向け産業立地ガイドや空き家バンクのような小規模工場、オフィス向けのデータを上田市として積極的に準備し、発信できないか。

答 （倉島商工観光部長） 比較的規模が小さい中小企業をターゲットとする取り組みは非常に効果的であり、市内空き工場や空きオフィスなどの情報を多く持つ宅地建物取引業協会や市内金融機関との連携を進め、データベース化も図りながら首都圏などの中小企業の誘致に積極的に取り組みたい。

問 （仮称）上田市版省庁・大企業向けお試しサテライトオフィスを準備して積極的にPR、準備することができないか。

答 （倉島商工観光部長） サテライトオフィスの促進は国、県の政策としても段階的に強化されており、また市としても首都

大河ドラマ館の総括

問 大河ドラマ館の最終予測総括と、今後の展示物の活用はどうするのか。

答 （西入政策企画部長） 最終入館者数は97万人前後と予想しているが、100万人突破を目指したい。利益予想は収入総額4億5000万円、支出総額は4億2100万円を見込んでおり、最終的な収支は3100万円程度の黒字と想定している。展示物は赤備えの甲冑のみ購入済みで、その他の展示物は購入検討中であり、新たな施設に展示予定である。

一般質問

池田 総一郎議員（創始会）



長野大学公立大学法人化

問 過去3回にわたる市民説明会で、大学運営に関わる経費について、市の一般財源を用いずに運営可能としていたが、新たな運営シミュレーションでは、将来的には市も負担せざるを得ない状況が出てくると思う、という言い回しに変わった。本当に市の財政負担なしに大学運営が可能なのか。

答 （西入政策企画部長） 学部、学科編成の方針が決まり、施設整備計画ができたところで市としても、必要となったときには負担をすべきものと考えている。それまでは、国からの交付金の範囲内で大学運営を行っていたのだきたいと考えている。

問 今回、新たに国立大学より4万4千円高い授業料と教育充実費6万円を徴収する案が示されたが、今後激化する国公立

大学間競争に生き残るためには、学生にそのメリットを納得してもらう必要がある。そのメリット・魅力とは何か。

答 （西入政策企画部長） 4年間で現在の私学の学生納付金より上田地域定住自立圏内の出身者においては89万8千円、また、圏外出身者においても75万7千円に下がることになり、学生や保護者にとっては負担が軽減されるので、納得していただけるものと考えている。

問 入試の個別試験では中期日程を採用すると国立大学との併願が可能になるため、志願倍率が飛躍的に伸びる。中期日程を採用する考えはどうか。

答 （西入政策企画部長） 中期日程を活用していくことは志願者の増加には極めて有効であると考えている。

その他の質問項目

・全国学力調査結果

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

12月定例会において、本会議を傍聴された方は延べ51人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。

- 傍聴により、市側の考え方、議員の見識などが理解でき、非常に有意義でした。多くの市民が参加すれば、市民や行政の方々の緊張感や意識が高まり、レベル向上となると思います。（70代 男性）
- 仕事をしていた時は「議会だより」にほとんど目を通していませんでしたが、リタイア後は時間の余裕ができたことで、丁寧に読むようにしています。それにもかかわらず、ピンと来ないことが多いため、まずは予算や条例がどういうプロセスで決まるのかを、傍聴を通じて今後も理解を深めていきたいと思っています。（70代）



傍聴者の声

一般質問

深井 武文議員（上田新風会）



いじめ、不登校への取り組み

問 文科省がこのほどまとめた小中学校におけるいじめの状況は全国的に最多の件数ということであるが、市の状況と具体的な取り組みはどうか。

答 （小林教育長）27年度で、小学校46件、中学校44件で90件である。前年比小学校36件減、中学校で3件の増という状況である。冷やかしの悪口、

おどし文句が50.8%、仲間はずれなどが19.2%、暴力的行為が13.3%などとなっている。取り組みとしては全小中学校でいじめ防止基本方針の策定による対策の組織と教職員間の情報の共有化で把握に努める一方、道徳の時間、学級活動の中で取り上げ指導を行っている。また、県内のいじめ防止組織などの事例も参考に組み入れ取り組んでいる。

問 不登校の状況と取組はどうか。

答 （小林教育長）年間30日以上の不登校者は小学校40人、中学校で130人である。取り組みとして、スクールカウンセラーの派遣、心の教室相談員の配置や教育相談所などと連携し個別に支援を行う取り組みをしている。

農業振興

問 荒廃農地の拡大や担い手不足の対策や食糧自給率向上に向けた市の取り組みはどうか。

答 （保科農林部長）地域の担い手となる認定農業者の確保と支援、農地の集約化の促進を進める一方、農村を支えている小規模農業者支援のため、農産物直売所の販路拡大を図る。

一般質問

松井 幸夫議員（創始会）



松くい虫被害

問 松くい虫防除対策の方法は何を主体に行っているか。その方法で効果はあらわれ、松林は守られているのか。

答 （保科農林部長）市の防除対策としては伐倒燻蒸処理、予防対策としては地上薬剤散布や樹幹注入を行い、森林整備対策としては樹種転換などの対策を行っている。伐倒

駆除は被害先端地と言われている標高の高い真田地域や丸子地域の西内、鹿教湯地区、武石地区の松林を守るため重点的に行ってきた結果、標高の高い地域は他と比べ一定の効果はあったと考えている。

問 新たな上田市版の空中散布の方式を考えるとできないか。

答 （保科農林部長）情報を最大限収集し、医師や研究者による人や動物など、また自然界への影響

に関する研究成果、国の指導を注視して最善の対策に取り組んでまいりたい。

武石オフトーク廃止後の新たな情報手段

問 新たな情報伝達システムの内容は地域の地形や集落にあったシステムか。導入時期はいつごろを考えているか。

答 （木藤武石地域自治センター長）代替システムは、災害時の伝達、コミュニティ活動における伝達の必要性から、情報の受信が容易であり、緊急時の一斉放送が可能な無線システムが適していると考えている。導入については十分な環境が整った時点で行う。

問 地域振興基金の活用は。

答 （木藤武石地域自治センター長）基金の活用も含め十分に検討し、事業実施に向け取り組みたい。

一般質問

渡辺 正博議員（日本共産党）



1万食の大規模給食センター

問 人口減少に歯止めをかけるとする上田市人口ビジョンにも示された移住定住の施策としても、地産地消がふんだんの学校給食、一人ひとりの子どもに寄り添って実施するアレルギー対応食、全国で表彰されるような真田地域の「自校給食」こそ上田市の魅力になるのではないか。

答 （母袋市長）「自校給食」は、もちろん大変すばらしいが、他ではまねのできない、できる限り手づくりによる調理の実践など、教育委員会の方針に沿って整備されたセンターは、十分に上田市の魅力アップに貢献できると考える。

問 川辺小の説明会では、「教育委員会としては答申を踏まえて検討し、一旦は「自校給食」という形で持っていたが、最

終的にはお金が伴うことであり、市長部局で方向性が出され、教育委員会としてもそれを踏まえて、今回、判断した」との経緯が説明された。審議会と教育委員会が提案した方針が、なぜ1万食のセンターという方針になったのか。

答 （母袋市長）市長部局で大規模統合センターの方向性が出たということは、私自身承知していない。また、そういう認識は持っていない。平成27年12月の「総合教育会議」の場で教育委員会から示され、慎重審議の結果、全員一致で方向性を出したということである。

その他の質問項目

・ 中小・小規模企業支援

一般質問

久保田 由夫議員（日本共産党）



太陽光発電施設問題

問 山梨県は、平成27年11月、太陽光発電施設の適正導入ガイドラインを策定したが、市としてどのように捉えているか。

独自のガイドラインの策定を目指しているとのことだが、どのような内容となるのか。

答 （峰村都市建設部長）

特徴としては、山梨県として太陽光発電施設の適正な導入のあり方を県民や事業者などに示したことに大きな意義があること。また、事業者が地域に根差し、安全な事業を継続する観点から、事業進捗に応じた整備、維持管理などの配慮事項を示していること、さらに、山梨県が中心となり全市町村を1つにまとめて策定したことで、県と市町村が連携し、県内全域で統一した考え方で事業者を指導することができ、適正な導入を促していることである。

問 10月の懇談では、太陽光発電施設に関する市

一般質問

西沢 逸郎議員（新生会）



学園都市づくり

問 市長は、自ら若者の声をどのように聞きとり、今後、市政に反映していくのか。

答 （母袋市長）まちなかキャンパスの活用も含めて、若者の声を市政に生かす仕組みづくりを今後検討していきたい。

高齢者福祉対策

問 高齢運転者対策の推進により、認知機能が低下し、運転免許を自主返納し交通手段に困る高齢者が急増していくことが想定されるが、課題解決策はどうか。

答 （西入政策企画部長）持続可能な公共交通網の整備充実に向け、乗り合いタクシースも含めた地域の事情にあった交通政策を研究していきたい。

健幸都市づくり

・学園都市構想の推進

問 市民の皆様の評判の良い地域リハビリテーション事業、あたま・からだ元気体操を全市的に普及して、さらに推進すべきと考えるがどうか。

答 （櫻田福祉部長）多くの高齢者に参加して頂けるよう事業展開を図る。

答 （神代健康こども未来部長）健康なまちづくりを進める上で大変有効な手段であり、開催場の拡大などさらなる普及を目指す。

建設業一丁の多様化

問 建設業界を支えるための今後の対策・展開は、

答 （峰村都市建設部長）市民の安心安全を確保し、まちづくりを進める上で建設業界の存在は必要不可欠であり、引き続き支援・育成に努める。

問 入札における地域要件の導入の検討状況は、

答 （小野塚財政部長）慎重に検討してまいりたい。

本会議を傍聴されたみなさんの声

～ご感想・ご意見をいただきました～

傍聴者の声
（続き）



- 質問に対する答弁がすでに出来上がっているようですが、傍聴者にも質問だけでなく答弁の内容も配付してほしい。細かい数字などをメモすることなく、聴くことに集中できます。「議会だより」の内容では大まかすぎて分かりづらい。（60代 女性）
- 相変わらずの棒読みの質問と答弁で、静かな議場でもう少し活気ある議会を望みます。（60代）
- 学校給食に対する市の方針は答申を踏まえて、とのことだが、答申は自校給食が望ましいと明確に出されています。お金の問題についても、細かく計算された答申だったと思います。是非、再検討してほしいです。（40代 女性）

一般質問

池上 喜美子議員（公明党）



子ども子育て支援

問 産後ケア事業に取り組む考えは。

答 （神代健康こども未来部長） 退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポートを行う産後ケアは、産後の母子の支援充実のために今後の導入に向け検討していく。

問 一時預かり保育の充実に取り組む考えは。

答 （神代健康こども未来部長） 保育士不足が課題となっている中で職員配置も含め対応に苦慮しているが、年々増加するニーズに応え充実を図る。

問 病児・病後児保育センターの充実と地域の拠点に順次整備する考えは。

答 （神代健康こども未来部長） 利用者にとつてより使いやすいセンターとなるよう検討するとともに、地理的要素や受け入れ可能な医療機関などのほか、長和町、青木村の意向、子育て世代の意

向を把握する中で関係機関などと協議を重ねていく。

問 保育園において、保育士や専門家が年中児全員を対象にして発達検査を実施することで、なかなか自分の子どもの発達障がいを受け入れられない保護者へのハードルを下げ、早期に必要な支援につなげることもできる5歳児発達検査を実施する考えは。

答 （神代健康こども未来部長） 現在の方法を充実していく考えであるが、国、県、先進自治体の動向を注視しながら効果的な支援について検討していく。

その他の質問項目

・子育て情報発信の充実
・不妊症・不育症の支援

一般質問

半田 大介議員（公明党）



学園都市づくり

問 「学生のまち」を標榜する上田市だが学生のための施策が見えない。住んで良かったと思える上田市に対する見解は。

答 （母袋市長 学生とのコミュニケーションが欠けていた。学生が主役となつて若い力を発揮でき、さまざまな人との交流ができる場所として今後一層「まちなかキャンパスうえだ」を活性化させていきたい。市内外出身者には1人でも多く上田のファンになつてもらいたい。

シティープロモーションの推進

問 佐久市などでは首都圏に通勤している市民に対して通勤手当の一部を補助している。税制改正により東京までの新幹線定期代が月額約14万円の

上田市まで非課税となった。様々な働き方に対応

できるよう通勤手当の一部を補助する考えはどうか。

答 （西入政策企画部長） 首都圏移住相談セミナー、相談会ではこれまで首都圏への通勤を前提に当市へ移住希望の相談者はない。通勤手当の補助について今後移住相談会などでさらにその需要があるか、他市の例についても調査研究を行う。

本庁舎等の整備

問 今後の改修、改築スケジュールと市民から意見、要望を聞く段階や手

段はどうか。

答 （小野塚財政部長） 今後は基本構想、基本計画策定を経て基本設計、実施設計と進み、南庁舎の耐震補強、その後本庁舎改築へ事業を進める予定であり、基本構想においてパブリックコメントを募集する。それ以降も基本設計など各段階で意見などを聞く機会を設ける。

一般質問

三井 和哉議員（上田新風会）



可燃ごみ減量化のための、雑紙回収方法の改善

問 再資源化できずに可燃ごみに回る雑紙の量は年間どのくらいか。

答 （山口生活環境部長） 家庭系の可燃ごみに年間5400トン含まれている。

問 上田市には可燃ごみとしてしか出せない雑紙を、再資源化する技術を持った製紙企業がある。更なる可燃ごみの減量・再資源化と市民の雑紙回収の煩雑さ解消のため、このような企業を研究したらどうか。

答 （山口生活環境部長） 古紙類再資源化の技術革新についての情報収集に努め、適正な処理コストや費用対効果も考慮しながら、古紙類の分類・分別の見直しに取り組んでいきたい。

観光施策として大河ドラマ館入館者90万人の分析

問 数百万人分のスマートフォンの位置情報ビッグデータを活用した観光動態調査サービスがあり、大河ドラマ館に入館した客の市内・市外の別、年齢別、男女別、居住地、何時頃どこからどんな交通手段を用いて上田市に

来て、どんな市内施設を巡って何時間上田市に居て何時頃どこへ向かったか、日帰りが宿泊か、宿泊先は市内なのか市外などどこか、といったことが全て知ることができる。観光施策構築のため、このようなサービスを活用したらどうか。

答 （倉島商工観光部長） リピーター率や満足度はビッグデータでは出せず、現在の聞き取り調査も大事である。費用対効果を含め聞き取り調査とあわせて検討していきたい。

一般質問

小坂井 二郎議員（上田新風会）



静岡県原発事故
避難計画

避難計画

新聞報道の概要は。

（宮川総務部長）国の

防災基本計画で、原発から30km圏内の全ての自治体に、避難計画策定が求められた。その中で、5km圏内の御前崎市などの4万8千人の一部を長野県で受け入れて欲しいとの話であるが、素々案の段階である。

問 国のHPでは、南海トラフの地震発生確率は30年以内で50〜87%とあり、日本国家の存続に関わるとある。市の防災計画は。

答 （宮川総務部長）市では福島第一原発事故以来、地域防災計画の中に原子力災害対策をつくり、現在でも、複数箇所での空間放射線量の測定を実施、公表している。

住民票等本人通知
制度

問 現在の登録状況は。

答 （片岡市民参加協働部長）12月1日現在、登録者数は15名である。

問 登録者への通知数は。

答 （片岡市民参加協働部長）制度施行以来、12件10名であり、丁寧に説明しておりトラブルはない。

問 全市民への拡大は。

答 （片岡市民参加協働部長）費用対効果の面から、現状で継続する。

上田市立産婦人科病院
運営審議会答申と方針

問 今後の運営方針は。

答 （神代健康こども未来部長）平成24年の答申時に、定期的な見直しを求められており、今回が診療報酬の見直し時期に当たっている。国からも平成32年度までに、収支の黒字化が求められており、料金の改定をした。「子育てするなら上田市で」を担う公立病院として、地域の周産期医療を守るため、今後も努力する。

一般質問

安藤 友博議員（新生会）



資源循環型施設建設
関連事業

関連事業

問 清浄園を解体しての資源循環型施設（クリーンセンター）の建設候補地として新たな提案を表明して4年と半年を経過するが、その打開策が見えない中、市長としての様に捉えているのか。

答 （母袋市長）今日まで地元対策連絡会の皆さんと意見交換を重ね、ごみの減量化・再資源化など様々な課題に対し意見交換を行い、さらには最新のごみ処理施設の先進地視察を開催するなど施設に対する理解を深めていただくよう取り組んできたが、施設の建設については、地域の皆様方との話し合いが思うように進まず、行き詰まりと停滞感を感じるとともに大変遺憾に思っている。

問 意見交換会により、地元の声として出されている課題について、早急に回答し、行政として出来ること、出来ないことを不転転の覚悟で、地元の皆さんに示すべきと考える。そしてその答えを結果として捉え、大義を持って前に進むのか、方向転換するのか、重い決断をする時が来ていると思うが、いつどの様に決断するのか。

答 （母袋市長）これまで地域の皆様にご理解いただけるよう意見交換を行ってきた。これからは出来るだけ早期に合意形成に至るようご理解をいただく努力を今後も継続していきたい。そして時を捉え決断したいと考える。

その他の質問項目

・上田市としてのし尿処理施設
・諏訪部自治会との関係

本会議を傍聴されたみなさんの声

～ご感想・ご意見をいただきました～

傍聴者の声
（続き）

○ 1人の議員の質問後の15分の休憩は必要ない。質問と答弁のくり返しで議論がなく淋しい限り。何点が議員から提案がされていたのは良いことと思う。（60代 男性）

○ 子どもが声を出してしまったので退出しようとしたところ、職員の方に声を掛けていただき、別室で中継を見せていただきました。大変うれしく感謝しております。今後も議場に入れない場合に、このようなご配慮をいただけるとありがたいです。（30代 女性）

議場での傍聴について

議会の傍聴については、上田市議会傍聴規則で定められています。規定の中では、議事の進行に支障がないように傍聴人は静粛を旨とすることが定められています。

小さなお子さんをお連れになって傍聴を希望される方で、子どもさんが泣かれるなどして本会議場へ入れない場合は、別室にて議会傍聴ができるような方法もありますので、お気軽にお声掛けください。

一般質問

宮下 省二議員（創始会）



長野大学の
公立大学法人化

問 市に迷惑をかけないと説明する長野大学の言葉を市はどう捉えるか。

答 （西入政策企画部長）大学の施設整備の費用は現在ある積立金と学生から施設費を徴収して施設更新が可能と判断した。

問 大学の施設整備を行う場合、見込額はどうか。

答 （西入政策企画部長）現時点では整備の見込額は算出していない。

問 1号館及び体育館などを整備すると35億円との試算があるがどうか。

答 （西入政策企画部長）大学側の内部資料として提出されたものであり、市の推計方法で計算すると不足は明白である。

問 大学は市に迷惑をかけないとするが、市に財政負担が生じた場合、責任の所在はどこか。また、大学経営が行き詰まった際、市はどの程度まで支

出を容認するのか。

答 （西入政策企画部長）市に負担が生じた場合、最終的な責任は市にある。

問 市に迷惑をかける過度な市への財政負担が生じないよう対応したい。

問 市長は当初、大学法人化を平成28年4月としたが、戦略的な甘さはな

答 （母袋市長）1年でも早く実現させることで地

問 大学経営は厳しさを増すが、市の考えは。

答 （西入政策企画部長）6年間の中期目標期間終了時には、業務の継続も含め総合的に判断したい。

その他の質問項目

・新幹線防音壁の処分に
伴う健康被害

一般質問

佐藤 論征議員（新生会）



上田市消防団を中核
とした地域防災力の
充実強化

問 消防団本部車両4台が現在屋外保管になって

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

問 中央消防署は夜間の会議、訓練、行事などで消防団が頻繁に利用して

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

問 中央消防署は夜間の会議、訓練、行事などで消防団が頻繁に利用して

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

いるが、駐車場が確保できず消防団員が非常に苦慮している。NHK大河ドラマ「真田丸」放映に伴う観光客増の対応として整備された上田城跡北

問 消防団本部車両4台が現在屋外保管になって

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

問 中央消防署は夜間の会議、訓練、行事などで消防団が頻繁に利用して

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

問 中央消防署は夜間の会議、訓練、行事などで消防団が頻繁に利用して

答 （長谷川消防部長）屋外での保管は望ましくな

一般質問

金子 和夫議員（新生会）



冬場に向けた安全な
道路環境

問 平成26年2月の大雪で得た教訓から除雪体制などの危機管理の方策と活用状況はどうか。

答 （峰村都市建設部長）平成26年2月の大雪災害に関する検証報告書から

問 市・自治会・区で除雪箇所の決定と、通学路・雪捨場の確保はどうか。

答 （山口生活環境部長）自助・共助・公助の観点からそれぞれの立場で協

問 除雪機購入費補助金の活用状況はどうか。

答 （山口生活環境部長）補助制度を改正して2年

問 自治会に所属しない別荘所有者などへの補助

答 （山口生活環境部長）補助制度を改正して2年

乳幼児から小学校
までの身体づくり

問 乳幼児期の成長過程に沿った、保護者への身

答 （神代健康こども未来部長）乳幼児健診や教室などで月齢・年齢に応

問 市内保育園・幼稚園で運動遊びの取り組みは。

答 （神代健康こども未来部長）保育園運動プロ

問 自治会に所属しない別荘所有者などへの補助

答 （山口生活環境部長）補助制度を改正して2年

その他の質問項目

・小学校での身体づくり

一般質問

金沢 広美議員（公明党）



観光施策

問 大河ドラマ館入館者が100万人になろうとしている要因は何か。

答 （西入政策企画部長）
ドラマが幅広い世代に愛されたこと、旅行エージェントによる団体での来館が中心だが個人旅行者も多いこと、真田氏史跡や施設がドラマの中で発信されたこと、放送開始前からイベントなどに取り組んできたことなどがある。

問 新たな観光施策として地域の魅力を知り、地域住民との交流が目的のフットパス事業の考えはあるか。

答 （倉島商工観光部長）
フットパス事業は、街歩きによる体験型観光であり、滞在時間を延ばし地域住民との交流がリピーターにつながる事業と考えるが、地元の活動組織が主体になることで地域の活性化につながるもの

スポーツコミッション

と考えられる。

問 長野県スポーツコミッションに上田市も加入しているが目的は何か。上田市もつくるべきだが考えはどうか。

答 （西入政策企画部長）
スポーツ大会やイベントを長野県に誘致し、スポーツツーリズムの振興と地域活性化を図る目的がある。ラグビーワールドカップキャンプ地誘致の申請を先月行ったが、効果的に進めるために長野県スポーツコミッションに参加した。新年度から文化・スポーツを通じて地域活性化を担う専門部署を設置する予定で、ラグビーワールドカップキャンプ地誘致をきっかけとした地域振興の窓口となるスポーツコミッションについて検討する。

その他の質問項目

・国際交流

議会の傍聴しませんか。

- どなたでも議会の傍聴ができます。
- 事前予約の必要はありません。
- 手続きは、市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取るだけです。氏名などをご記入いただく必要はありません。

■3月定例会会期日程（予定）

2月27日（月） 本会議（市長施政方針・提案説明など）
3月 6日（月）、7日（火）、8日（水） 本会議（一般質問）
3月10日（金）、13日（月）、14日（火）、15日（水） 各常任委員会
3月23日（木） 本会議（委員長報告・採決など）

予定ですので、変更になる場合があります。

なお、議会日程の詳細は上田市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせいただき、確認のうえお出かけください。

■お問い合わせ 上田市議会事務局：0268（22）0452

上田市議会のホームページをご覧ください！

「議会の傍聴したいので詳しい日程を知りたい。」「議会が開会している時以外は、議員はどんな活動をしているの?」というお問い合わせをいただくことがあります。

市議会のホームページには、議会日程や議会開会時以外の予定（議会カレンダー）を掲載しています。また、議員の活動については、議員個人のホームページに掲載している議員もあり、そちらは名簿に掲載されているアドレスからご覧いただくことができます。

そのほかに、議会だよりや本会議の会議録などでもご覧いただくことができます。情報満載の上田市議会のホームページをぜひご覧ください。

～議会ホームページでは次の情報を見ることができます～

市議会情報

○定例会・臨時会の日程 ○意見書・決議 ○議会報告会
○市議会カレンダー

市議会のしくみ

○市議会のあらまし ○議会傍聴のご案内 ○請願・陳情について

市議会議員

○議員名簿・各種委員会名簿 ○議長交際費 ○政務活動費 ○委員会視察報告 ○会派視察報告

うえだ市議会だより

会議録検索システム

アクセスはこちらから → www.city.ueda.nagano.jp/ 上田市議会

検索

12月定例会 請願・陳情の審査結果

請願

件 名	提 出 者	審査結果
免税軽油制度の継続を求める請願	菅平旅客索道協会 会長 丸田光男 氏 (紹介議員 金沢広美議員)	採 択

陳情

件 名	提 出 者	審査結果
エコ・ハウスにおける無償提供品数を罹災者に多くすることを求める陳情	瀧澤史貴 氏	趣旨採択
沖縄県議会の「米軍北部訓練場ヘリパッド建設に関する意見書」を支持する意見書提出に関する陳情	成沢正博 氏	不採択
児童発達支援センター「蓮の音こども園」の建設補助金に関する陳情	社会福祉法人上田明照会 会長 横内浄真 氏	不採択
国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 小池広志 氏	不採択
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 小池広志 氏	不採択
給付型奨学金制度の創設等を求める意見書（決議）の提出を求める陳情	連合長野上小地域協議会 議長 下村敬貴 氏ほか1人	不採択
上田市施設である上田市交流文化芸術センター内ホールを使用している金剛山歌劇団上田公演中止を求める陳情（継続審査）	川島一郎 氏	不採択

皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます。

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。
提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

■請願

請願は、所管する常任委員会に付託して審査を行います。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。請願は、請願を紹介する議員が必要です。

■陳情

陳情は、一部を除き、所管する常任委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。陳情は、紹介議員は必要ありません。

■請願・陳情の趣旨説明

請願や陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。
請願や陳情の記載要件など詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

次回の3月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は2月28日（火）の午後3時です。

第6回 上田市議会報告会での意見交換の紹介



各会場でいただいた貴重なご意見の一部をご紹介します。

「議会報告会」では、昨年大いに盛り上がった大河ドラマ「真田丸」の放送終了後に関することや重要課題である資源循環型施設の建設について、また、地域を守る消防団員の支援や確保についてなど、参加された皆さんから多くのご意見をいただきました。

また、委員会ごとに開催された「テーマ別車座集会」では、参加者と議員の距離感を縮め、より意見交換しやすい形式を取り入れ、専門的な立場の方や子育て中の方、市内大学で学ぶ学生などから、それぞれの現在の状況を交え、多くのご意見、ご提案などをいただきました。

塩田公民館

- Q 市独自の消防団応援事業はどういうものを考えているか。
- A 上田市独自の応援ショップも設定されることとなった。
- Q 行政視察で得たことをどう市政に生かしたかなど結果報告を載せてほしい。
- A 行政視察の際は報告書を提出し、ホームページに掲載されており、ご覧いただける。また、議会事務局でも閲覧できるようになっている。
- Q 上田市に魅力ある公園がない。サントミュージゼに遊具を設置するなど子どもが喜べる場所をつくることはどうか。
- A 上田城跡公園内の児童遊園地をリニューアルする予定がある。また、サントミュージゼの広場についてはご意見として市に伝える。
- Q 中高生に消防団に興味を持ってもらうことが上田市の防災力向上に重要なことだと思うがどうか。
- A 中高生対象に活動した方が効率的ではないかというご意見は理解している。消防団としても考えていただき、入団したいという方が一人でも多くなるようなきっかけになればと思っている。

武石公民館

- Q 人口減少や高齢化が予測される中での合併だったが、合併後10年が経ち、検証が必要ではないか。
- A 合併の是非については、様々な意見がある。合併後は周辺地域を優先した事業を進めてきており、武石地域では児童館や学校施設など、真田地域では図書館の建設、丸子地域では給食センターの移転新築や図書館建設などがある。
- Q オフトークが廃止され、重要な情報が住民に伝わっていない。2年たっても、代替え手段ができていないが今後はどうなるのか。
- A オフトークはエリアトークというこれまでは電話回線を使用したものだったが、これに代わる手段は現在検討中で、電波で発信する仕組みのもので、一斉放送できるページング放送や災害時は自動で電源が入り、音量が最大になるものである。今後は、自己負担がどうなるのかを含めて検討していく。

城南公民館

- Q 地域内分権についてもう少し具体的に説明願いたい。
- A 自らの地域を住民が力や知恵を出し合い、特色を生かすことを推進するものである。また、これまでとは違い、行政が主ではなく地域主導で地域づくりに取り組む手法と理解していただきたい。
- Q 学園都市構想を推進する理由、長野大学の支援、新潟薬科大学の現状はどうか。
- A 市内に4大学がある市は全国的にも珍しく、まちづくりに活かすことは有意義と考える。長野大学については議会内に研究委員会を設置し、財政負担についても十分検討をして、議会としての方向性を示した。また、新潟薬科大学については昨年より多面的に検討し、大学側も上田キャンパスを決定している。なお、総務文教委員会では市内の経済団体から提出された陳情を採択している。

川西公民館

- Q インバウンドの取り組みをどのように考えているか。
- A 観光資源としての温泉やスキー場は一般的だが、歴史やお寺など日本の文化について発信していれば可能性があると考えている。また、武石地域では台湾から修学旅行生を受け入れて農業体験をしてもらっており、インバウンドの取り組みの一つとして実施している。
- Q 住民自治組織の現時点の問題点は何か。
- A 自治の意識が高い今までの住民組織（自治連、地域振興会、商工振興会）があるなか、新たな組織を立ち上げることが課題としてあるが、知恵を出し合い動いており、自分たちの自由な考えで事業を進めようとしている。
- Q 消防団員の昼間の出勤にあたり、会社の理解を得ることが難しい。勤務中に出勤できる制度をつくれませんか。
- A 消防団員の確保、処遇改善が大事である。積極的に出勤できるよう企業に対する要請を検討していく。

西部公民館

- Q 非常事態宣言を行うほど高齢者が対象の詐欺が横行している。市での対策は。
- A メール配信で頻繁に注意喚起は行っているが、警察との協力を続けていく。
- Q 人口減少、少子高齢化の状況はどうか。
- A 2010年時点での人口は159,597人となっていたがこれが50年後には上田市は113,285人となることが予想されている。また、高齢化率については、2045年には36.7%にもなる。これを少しでも緩やかになるような対策を考えていきたい。住民の皆さんと一緒に高年齢の方が孤立しないようケアしていくことが大切である。
- Q 警察署が移動してしまい夜になると真っ暗で治安が心配である。付近に交番を設置してもらえよう要請してもらいたい。
- A 関係者への要請を検討していく。

真田中央公民館

- Q 6次産業の取り組みは。
- A ワイン用ブドウへの取り組みに力を入れてきている。また、市内にある3つの6次産業認定農家の取り組みにも注目しながら、高付加価値型農業について提言していきたい。
- Q 太陽光発電規制の条例制定の時期は。
- A 条例制定の時期については明確に答えることはできないが、現在着手してしまっている事業に関しては、後から作った条例を適用するのは難しいと考えていただいたほうがいい。自然エネルギーの推進は重要だと考えるが、適正に推進されるよう検討していく。
- Q 太陽光発電関連の条例には、環境学上の観点に加え、自然保護の観点を入れ、豪雨災害が拡大しないようにしていくべき。許認可権を目指すのかの見解は。
- A 許認可権まで及んでいる条例は見当たらない。委員会の総意とすれば、指導要綱では弱いので条例制定を目標に検討をしている。今後議会の中でも話し合いたい。



上野が丘公民館

- Q 「真田街道」(国道144号) 沿いの道路縁石の内側も外側も雑草が茂っている。おもてなしとして美化に努めるべきではないか。
- A 自治会で行っている場所もあるが、所管している県建設事務所に要望するよう担当部署に伝える。
- Q 長野大学に工学部があればよいと考えるが、どうか。
- A 長野大学には4学部構想はあるが工学部はない。企業からの学部再編の要請もあり、大学としても検討している。

丸子文化会館

- Q 2019年ラグビーワールドカップキャンプ地誘致と2020年のオリンピックについて上田市の今後の対応は。
- A 2019年のキャンプ地誘致に手を挙げる予定であり、スポーツ合宿を呼び込むことを積極的に進めたい。平成39年の国体も上田市体育協会として県には要請している。市の設備は不十分だが地域に合ったものが開催されるよう働きかける。
- Q 地域交通の充実をお願いしたい。車が無ければ生活ができない。シャトルバスを運行してはどうか。
- A 運賃低減バスという全国でも3番目となる事業を実施している。全国でも先進的な取り組みであるためこの実証実験を続けていく。
- Q 腰越の国道152号線はトラックの往来が多く危険であり、大型車の交通時間制限をしてほしい。
- A 旧丸子町のなかで危険な箇所も多いので、可能な場所でバイパス化していくなどを関係各所に要請を行っていく。

中央公民館

- Q 市役所庁舎建て替えの方向性は。また、市民意見の反映は。
- A 現在、外部有識者による検討委員会が行われ、今年度内に最終的な報告を出すという方向で進んでいる。市民意見の反映については、検討委員会の答申を受け、市民説明会が開かれていくと考えている。
- Q 地域内分権についてモデル地域での報告会でも発言がなく、どう捉えられているかわからず、他地域へ波及できるのか不安がある。
- A 地域経営会議をスタートした3モデル地域は住民自治組織に変わってきている。中央地域の場合、範囲が広く多くの意見が出て進めることが難しい状況であり、自治組織をつくったらどうなるのかなど内容がはっきりしないが、地域の特色を生かしたまちづくりをすることが主旨であり、しっかり協議し進めていきたい。
- Q 若い母親たちは紙媒体よりも、スマホなどで情報収集する。子育てアプリなどつくってもらいたい。
- A 3月に提供できるように準備が進んでいる。お母さんたちにとって必要な情報がしっかり入るように要望していく。

産業水道委員会

テーマ：大河ドラマ「真田丸」その後の商工振興

意見ほか：（１）商業部会

- ・上田市のブランド力をどう生かしていくかが課題。
- ・「真田丸」効果の実感はない。高齢化、後継者不足の課題がある。
- ・観光も大事だが、人口減少をどう防ぐか考えるべき。「真田丸」効果を移住に結び付けるべき。
- ・上田にあるものを活用し、インバウンド対策に力を入れるべき。

（２）工業部会

- ・「真田丸」によって知名度は上がったが、数値的な効果は現れていない。
- ・製造業は仕事量が減少している。
- ・従業員の高齢化により廃業が増えている。
- ・若者は大企業志向が強く、中小企業には関心が薄い。
- ・下請けはコストダウンの要請に苦勞している。
- ・上田産業展を教育の一環としても考え、多くの学生が訪れるよう取り組んでほしい。

環境建設委員会

テーマ：「空き家」について考える

意見ほか：（１）空き家等で困っていること

- ・不法侵入者の喫煙による火災、放火などの治安について。
- ・空き家の敷地から草、樹木が道路や隣家にはみ出ししているなどの景観について。
- ・倒壊、瓦の落下、窓ガラスが割れているなどの危険について。
- ・小動物が住みついている、蜂の巣があるなどの動物について。
- ・空き家の持ち主や相続人が不明。

（２）解決方法のアイデア

- ・法律や条例により立ち入りが可能とする。
- ・地域で草、樹木を除去できる仕組みや補助金の創設。
- ・解体、リフォーム費用に対する補助金の創設。
- ・自治会などで管理できるルール、猟友会や消防団と連携する仕組みづくり。
- ・持ち主や相続人が不明でも市や地域で対処できるような法の改正や条例の制定。

厚生委員会

テーマ：子育てについて

意見ほか：・福祉、教育の連携が健康プラザで完結していることはすばらしい。

- ・子どもと遊べる公園や遊具が少ない。
- ・大規模給食センター化について十分な説明が必要、また、市民の声を聞いてほしい。
- ・給食室で顔の見えるなかで調理を行ってほしい。
- ・時機を逸すると保育園に入園できない現状を改善してほしい。
- ・市のメールや広報が分かりにくい。
- ・急に子どもを見てほしいときに、そういった場所がなく困る。
- ・ファミリーサポート制度があるが、事前の手続きが煩雑で利用するのを躊躇した。

広報広聴委員会

テーマ：女子力全開～ちょっと聞いてよ私の想い～

意見ほか：・上田市に象徴的な公園を作してほしい。

- ・公共施設に灰皿を設置する必要はない。
- ・上田市は医療の体制が弱い。
- ・女性の意見を会社が聞いてくれるようになった。お母さんたちが頑張れば企業も変わってくるのではないか。
- ・子育てと仕事を天秤にかけ子育てを選んだが、どちらかしか選択できなかったということが悲しかった。
- ・子育てについては、夫の職場にも理解してほしい。
- ・移住してほしいというアピールは分かるが、市民生活に対するケアが感じられない。
- ・子育ては終えたが、これからは親の介護の問題がある。

総務文教委員会

テーマ：住みたいまち上田市を創る学生とのまちなかミーティング

意見ほか：「PR」…上田市の良さを情報発信していくべき。

「学生がバカになれる町ウエダ」…学生ひとりひとりが活躍できるまちにしたい。

「県外の人を呼べない！！」…学生にとって不便さや住みにくさを感じ、友だちに紹介できない。

「合同学園祭（＋地域）」「飲みにケーション（学生・市民・行政）」…人と人とのつながりを支援してほしい。

「ス（ルメ）」…上田市は住めば住むほど（噛めば噛むほど）味が出る魅力あるまち。

「ば」…学生達が集う場、交流のできる場、人と出会う場、安く食事ができる場、歌が歌える場など、学生だけではなく多くの人たちとの交流ができる場。



議会トピックス

年4回(3月、6月、9月、12月)に開会される定例会の一般的な流れについて紹介します。

本会議（初日）	
○開 会	議長の宣告により開会します。
○会議録署名議員の指名、諸般の報告、会期の決定	
○議案提出、提案理由の説明	市長や担当部長が議案の提案理由を説明します。また、3月定例会では市長から1年間の施政方針が説明されます。



本会議（2日目）	
○一般質問	議員が市政全般の課題などについて、市長や担当部長などに質問します。

本会議（3日目）	
○一般質問	同上

本会議（4日目）	
○一般質問	同上
○議案質疑	議員が提出者に対し、議案の内容や提案の理由などについて質問します。
○委員会付託	議案の審査と担当の常任委員会などに議長が付託します。



常任委員会（総務文教委員会、産業水道委員会、厚生委員会、環境建設委員会）	
○議案審査、請願・陳情審査	付託された議案及び請願・陳情について説明を聞き、質疑、討論、採決をし、委員会の意思を決定します。



本会議（最終日）	
○委員長報告	委員長が委員会の審査や調査の結果を本会議で報告します。
○委員長報告に対する質疑	報告のあった審査内容・結果について議員が質問します。
○討 論	議案などに対して、議員が賛成・反対の意見を述べます。
○採 決	多数決により議案に対する議会の意思を決定します。
○閉 会	議長の宣告により閉会します。

平成29年度 上田市議会の開会予定日

- 6月定例会 招集日 平成29年 6月 5日（月）
- 9月定例会 招集日 平成29年 9月 4日（月）
- 12月定例会 招集日 平成29年11月27日（月）
- 3月定例会 招集日 平成30年 2月 5日（月）

日程は変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局までお問い合わせください。



編集後記

昨年は合併10周年記念行事やNHK大河ドラマ「真田丸」に関する行事など多くの行事が行われ、市民の皆様にも様々な形でご理解・協力いただき、盛り上げて頂きましたこと、感謝申し上げます。

上田市議会では10月中旬から11月上旬にかけて、「議会報告会」及び「テーマ別車座集会」を開催いたしました。

昨年度に3会場に減らした「議会報告会」は、本年度は9会場で行いました。

また、昨年度初の試みとして開催いたしました「テーマ別車座集会」については、本年度から常任委員会となりました広報広聴委員会も開催し、初の試みとしてインターネット中継を行うなど、幅広く情報発信できるよう取り組みも行いました。ご参加いただいた皆様からのご意見・ご要望により、今まで気付かなかった課題や再認識できた課題など、各常任委員会においてもしっかり受け止め、検討・調査研究に努めて参ります。

（成瀬拓）